

静岡県デジタル人材確保・育成戦略(2025~2028)概要

国の動向

- 2030年には**デジタル人材が最大79万人不足**するとの予測
- DXを実現するために必要な人物像を細分化、「**デジタルスキル標準**」として整理
- 「人工知能関連技術の研究開発及び活用の推進に関する法律(AI法)」施行、「人工知能基本計画(AI基本計画)」策定。「**世界で最もAIを開発・活用しやすい国**」を目指す

本県の状況

- 「ICT人材を確保している企業の割合」は前戦略策定時から増加しているが、**ここ数年は横ばい**
- デジタル人材(情報通信産業の従業者数)の割合は1.2%と**全国平均より依然として低い状況**
- AI導入の課題は「**社内に詳しい人材がない**」、「**投資対効果が不明**」が多数

産業界の声・有識者意見

- 各企業が**デジタル人材に求める役割・スキルが多様化**
- **成功した企業の事例を知りたい**という声が多い
- デジタルスキルの多様なニーズに対応できる人材の育成が必要
- **全ての階層でAIへの対応が必要**
- 次世代人材は、**プログラミング以外のデジタルスキルの教育も必要**

目指すべき姿 本県産業の新たな価値の創造や生産性向上に貢献するデジタル人材が活躍する地域

施策の重点方針 **I. デジタル人材の役割・スキルの多様化への対応** **II. AIイノベーションの推進** **III. 成功事例の創出と横展開の強化**

| 施策展開 | これまでの主な取組 | 施策の方向性 | 取組内容 |
|-------------|--|---|---|
| トップレベル人材 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏等SUと県内企業のビジネスマッチング ・ ICT関連企業の誘致(高度ICT人材確保) ・ イノベーション拠点への人と情報の集積 ・ 3次元点群データを活用して仮想空間を構築できる人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業とスタートアップとの共創事例の創出と横展開 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 首都圏等SUと県内企業のビジネスマッチング ○ イノベーション拠点への人と情報の集積 ○ 3次元点群データを活用して仮想空間を構築できる人材の育成 ○ 県内でのSUの実証実験の促進【R7新規】 ○ 中小企業へのAI導入実証の支援【R8新規】 |
| 中核的人材 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端ICT技術習得を図る講座 ・ 製造現場等におけるAI・IoT導入の支援 ・ オープンイノベーションの創出支援 ・ 高度外国人材の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のDXに向けた人材(高度外国人材含む)確保の強化 ・ エンジニアのビジネス現場での実務力の養成 ・ AIの活用を促す取組の強化 ・ オープンイノベーションを推進できる人材の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 先端デジタル技術習得を図る講座 ○ 製造現場等におけるAI・IoT導入の支援 ○ 企業のエンジニア採用力向上支援【R8拡充】 ○ オープンイノベーションの創出支援 ○ 高度外国人材の活用 ○ 若者等と連携した企業の生成AI活用促進【R8新規】 |
| 全てのビジネスパーソン | <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルリテラシー向上を図る講座 ・ AI活用に向けた普及・啓発 ・ デジタル技術活用事例の普及・啓発 ・ 県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者層をはじめとした全てのビジネスパーソンのAI等のリテラシー向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○ AI等デジタルリテラシー向上を図る講座 ○ AI活用に向けた普及・啓発 ○ デジタル技術活用事例の普及・啓発 ○ 県立工科短期大学校における在職者・離転職者訓練 |
| 次世代人材 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先端技術を習得した高度人材の育成 ・ 学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供 ・ 小中高校生を対象としたプログラミングコンテスト ・ 教員研修及び学校環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高校生等の多様なデジタルスキルを育む取組の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 先端技術を習得した高度人材の育成 ○ 学齢期におけるデジタル技術に親しむ機会の提供 ○ 次世代AI開発者(エンジニア)の育成【R8新規】 ○ 次世代AI事業企画者(ビジネスプランナー)の育成【R8新規】 ○ 教員研修及び学校環境の整備 |

| KPI | 基準値 (2024年度) | 目標値 (2028年度) | 積算根拠 |
|-----------------------|--------------|--------------|----------------------|
| デジタル人材を確保している企業の割合 | 55.8% | 67.0% | 2025年度:58%を基に+3.0%/年 |
| AIを導入済みまたは検討している企業の割合 | 42.1% | 82.0% | 直近の増加率を踏まえ+10.0%/年 |